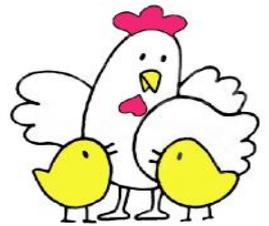


# ひよこのおたより



魅力的な唇になるために、やさしい言葉を話さない。  
 愛らしい目を持つために、人のよいところを探さない。  
 おなかをすかせた人に食べ物を分けてあげれば  
 身体はほっそりするよ。  
 1日1回子どもが指で梳いてくれば、髪はつややかになる。  
 決してひとりで歩いてはいないことを知っていれば、  
 弾んだ足取りで歩けるはず。  
 おまえの未来のために伝統を残しておこう。  
 愛情をこめた人のやさしい慈しみは、けっして失われることがない。  
 物は壊れたらおしまいだけど、人は転んでも立ち上がり、  
 失敗してもやり直し、生まれ変わり、  
 前を向いて何回でも何回でも何回でもあらたに始めることができる。  
 どんな人も拒絶してはいけないよ。  
 助けがほしいとき、  
 必ず誰かが手を差し伸べてくれることを覚えておきなさい。  
 大きくなればきっと自分にもふたつの手があることを発見するだろう。  
 ひとつの手は自分を支えるため。もうひとつの手は誰かを助けるため。  
 おまえの「すばらしき日々」はこれから始まる。  
 どうかたくさんのすばらしき日々を味わえるように。

この詩は、ユニセフ親善大使として活動していたかつての大女優オーディリー・ヘップバーンが、亡くなる前、家族の前で朗読したものです。

サム・レヴェンソンという作家が孫娘の誕生日に送ったもので、彼女はこの詩をこよなく愛していました。

とある冊子でこの詩を読んだとき、心のなかに、温かな空気が湧き立つと同時に、自分の中にある黒くくすぶった思いが恥ずかしくてなりませんでした。

こんな風に子育てできたら、なんて素敵なんだろう。子育て真っ最中の方たちに、ぜひ伝えたいと思い、今月号に引用させていただきました。

## ひよこ日記

(保育室にいるぴーちゃんが書いた日記です)



しんねんどが はじめて 1かげつがすぎました。

ひよこのほいくしつは あかちゃんが たくさん ふえました。

そとへいくときは よにんのりのべびーかー、かーと、ときには、ひとりのりまで つかいます。おにいさん、おねえさんたちは、べっどにいるあかちゃんを さくごしに のぞいたり らっくをゆらゆらしていると てをそえてくれたり やさしく みまもって くれてます。  
 あかちゃんが いるって いいなあ〜、そうおもう きょうこのごろです。

お・し・ま・い

ひよこスタッフによるコラム、今年度は「私の子育て」のテーマで書き綴ります

ひよこの保育室の周辺の公園には、さくら、ちゅうりっぷ、こでまり草、様々なお花が楽しめます。子どもたちもお天気の良い日は毎日お散歩に出かけています。

<いつも、地域の公園愛護会の方々がお世話してくださり感謝しております。>

4月も下旬になり、その桜もすでに葉桜です。

わが子が、新入园児、新入生の頃は底抜け母さん（わたしのこと）は子ども達が、まず、安心して園や、学校に登園、登校できるようにと準備をするのにおおわらわです。

まず、忘れ物をしないように、遅刻しないように、しっかり朝ごはんを食べさせ、排せつの確認をして・・・などなど。バタバタとあわただしい日々を送っていました。

当事者から少しずつ距離がとれてきた今

子ども達が、小さな体に、小さな胸の中に、新しい環境を、新しい人間関係を一生懸命受け入れようとする姿に心が温かくなります。

子どもたちをたくさんの方が応援していること、そして、たくさんの方が子ども達から力をもらっていることを伝えていきたいです。

(ひよこの保育室スタッフ 花原 真理子)

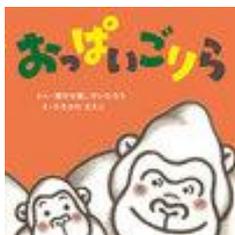
## ★連絡ノートから★

昨日、お昼寝の時にオルゴールの音楽を流して横になっていたら「ひよこ」「いーこ いーこ」といっていました。^^

家についてからもずーっと「保育園楽しかった!」と言っていて安心しました。散歩の時、違う園児を見つけるとかけ寄って列に混ざり、手をつなごうとします。積極的?すぎて少し困ってしまいます(笑)。

雨だからか、母は頭がいたくて寝ていたら、トトロを見てた〇〇が、ネコバスのモノマネをして”ニャー”と頭の上をはしりまわっていました。なんであえての”ネコバス”チョイス!? “笑

## ほんのひととき



「おっばいごりら」

ぶん・聞かせ屋。けいたろう

え・ひろかわ さえこ

アリス館

“ぱぱです ぱぱです ぱぱごりら” “ぱぱの おっばいです”  
リズムカルな文章の繰り返しです。  
子どもたちの大好きなおっばいが  
できます。最後は“ぱぱです ぱ  
ぱです ぱぱごりら” さて、ぱぱの  
おっばいは??

午前中2人でお散歩する時間が最近の癒しです🍀地面と目線が近いので、虫やお花にすぐ気がついて、この季節は本当に楽しそうです。ひよこさんで3月に公園でテントウムシを見つけた時のことを、今でも嬉しそうに話してくれます。

発行元 特定非営利活動法人はぐっと ひよこの保育室

発行責任者 施設責任者 浅見 真紀子

Email hiyoko@hugood.jp

連絡先 横浜市西区浅間町1丁目17-2-102

Tel.045 (312) 9202